

Test.SSF スキル基準及びキャリア基準

JaSST '13 Tokyo 2013.1.30

— 成り立ち、概観、これから —

佐々木 方規 (IVIA)

目次

- はじめに(関係団体、背景など)
- Test. SSFのあゆみ(2013年1月現在)
- Test. SSFの構造(概観)
- Test. SSFのこれから

■ IVIA

■ 名称

- 一般社団法人 IT検証産業協会 (<http://www.ivia.or.jp/>)
 - IT Verification Industry Association
 - 略称 IVIA(アイビア)

■ 目的

- IVIAは、IT検証サービスに関連する企業、団体、個人が集い、よりよいIT検証サービスを目指して研鑽し、業界の健全なる発展を促進するとともに産業として確立させ、わが国の社会・経済の発展に寄与することを目的としています。

■ 活動内容

- 検証(テスト・評価)業界の認知度向上
- 検証(テスト・評価)技術力の向上
- 検証(テスト・評価)標準化(体系、用語等)
- 検証(テスト・評価)技術者の創出・育成・認定
- 検証(テスト・評価)情報の交換および提供
- 産官学の連携

■ ASTER

■ 名称

- NPO法人 ソフトウェアテスト技術振興協会 (<http://aster.or.jp/>)
 - Association of Software Test EngineeRing
 - 略称 ASTER(アスター)

■ 目的

- ソフトウェアテストシンポジウム(JaSST)をはじめとする、ソフトウェア品質向上に関する教育や調査研究、普及振興事業を行います。
- これらの事業を通して、ソフトウェア品質向上に関する社会教育の推進および専門能力の開発を実現します。
- 最終的には、
社会全体で品質が高いソフトウェアの流通と活用がなされることで
高度情報化社会の発展に寄与することを目的としています。

■ ETSS — 組込みスキル標準

■ 名称

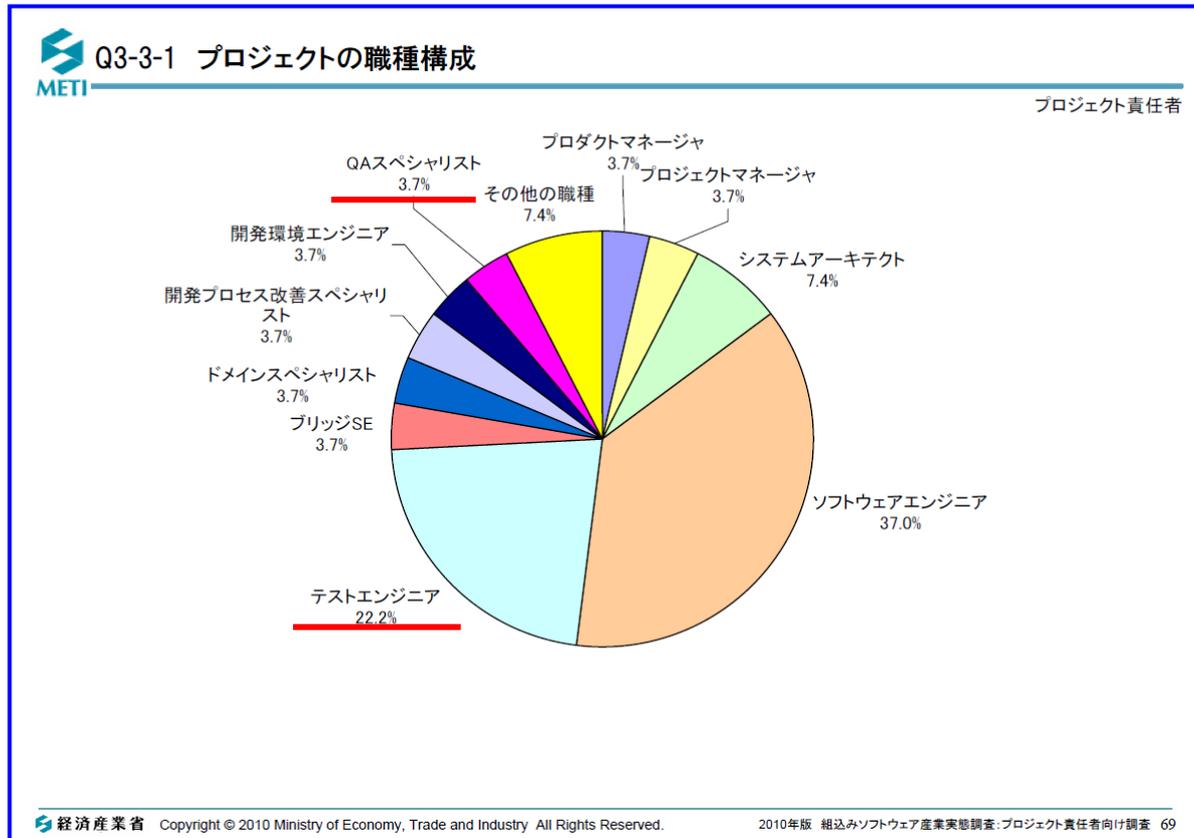
- 組込みスキル標準 (<http://sec.ipa.go.jp/ETSS/index.html>)
 - Embedded Technology Skill Standards
 - 略称 ETSS

■ 目的

- 我が国では、この組込みソフトウェア開発者不足が問題となっている事が、2004年版「組込みソフトウェア産業実態調査」報告書により明らかになりました。その問題を解決するためには、組込みソフトウェア開発者の育成が急務です。
- 組込みスキル基準は、その組込みソフトウェア開発に必要なスキルを明確化・体系化したものであり、組込みソフトウェア開発者の人材育成・活用に有用な「ものさし」(共通基準)として次の3つの要素を提供します。
 - スキル基準、キャリア基準、教育カリキュラム

プロジェクトにおけるテストエンジニアの構成比率

プロジェクトの職種構成比では、テストエンジニアとQAスペシャリストで全体の1/4をしめる。さらにソフトウェアエンジニアが担当するテスト領域を入れると、プロジェクト内で実施されるテストの割合が更に多いと考えられます。



平成22年 2010年版組込みソフトウェア産業実態調査<プロジェクト責任者向け調査>集計表より

http://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/joho/downloadfiles/2010software_research/10project_houkokusyo.pdf

Test.SSFと組み込みスキル標準

テスト技術を体系的に整理するために「組み込みスキル標準ETSS」のスキル標準フレームワーク(SSF)を活用。Test.SSFという名称はこのSSFを用いていることを意味している。ドメインに依存しないようスキルの抽象化を行い、広くソフトウェアテストにおいて利活用できることを目指している。

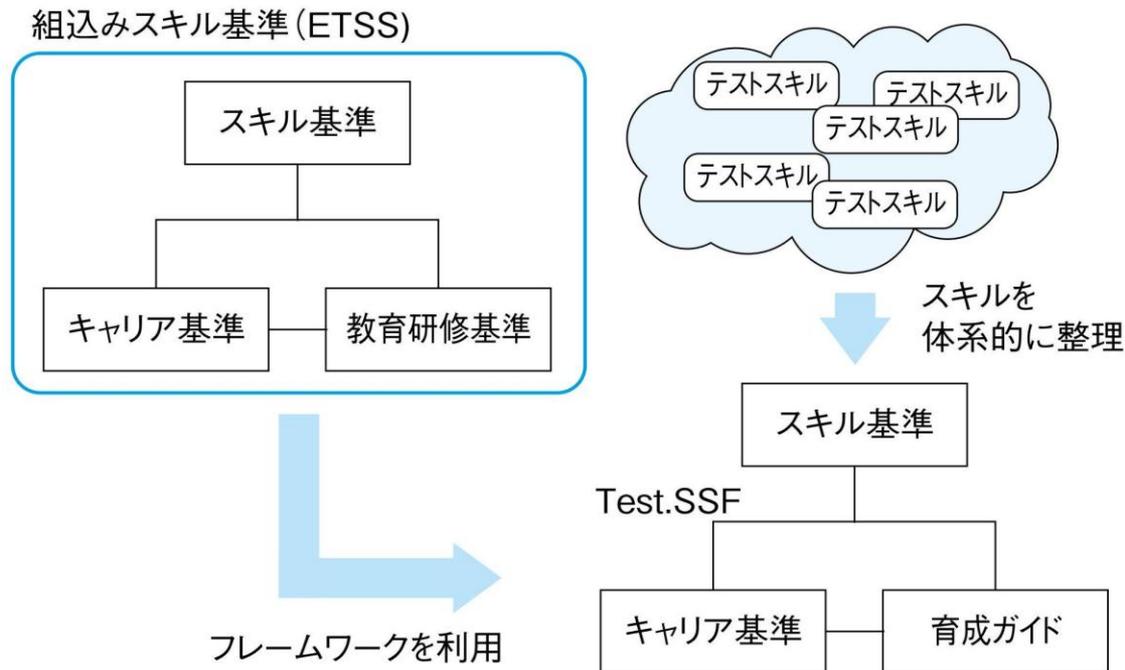


図2 Test.SSFの構成と組み込みスキル標準

SEC journal 第31号《トピックス》テストの技術力強化に向けたテスト技術のスキル標準より
http://sec.ipa.go.jp/users/secjournal/SEC_journal_No31web.pdf

1. Test. SSFとは何か

■ 正式名称

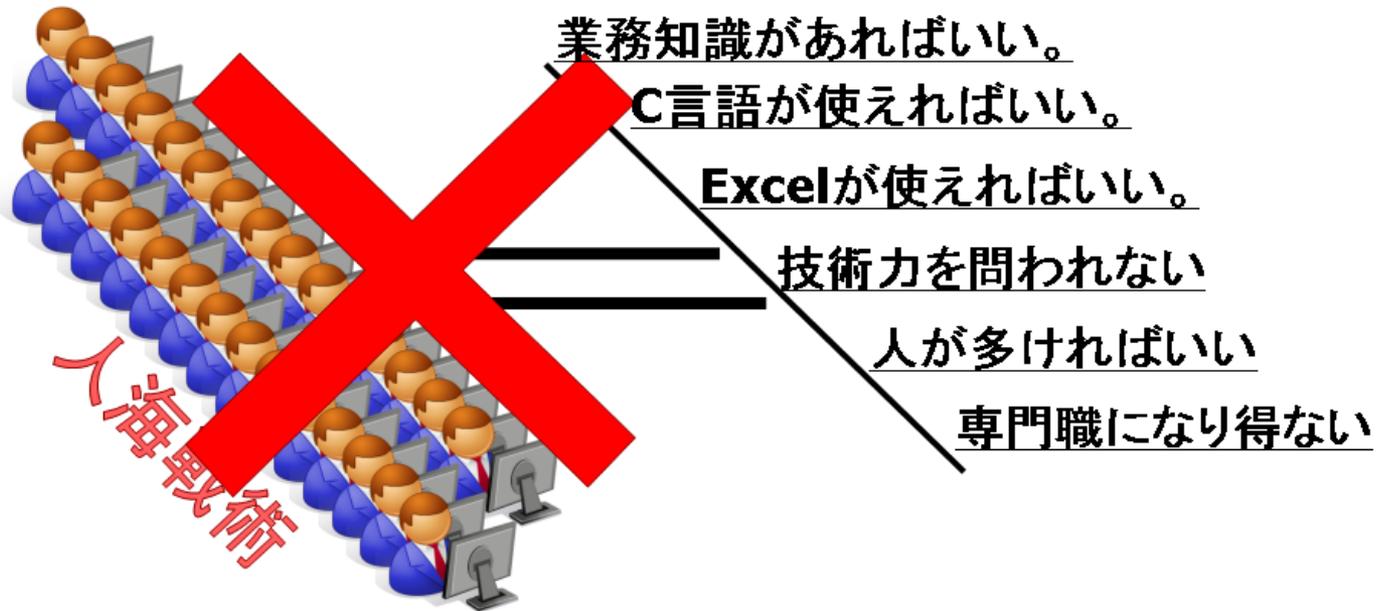
- SSFに基づくテスト技術スキルフレームワーク
 - SSF: Skill Standard Framework / スキル標準フレームワーク
- Test Technology Skill Framework based on SSF

■ 略称

■ Test.SSF

- 略称の読み: **てすと どっと えすえすえふ**
- てすと えすえすえふ、でもよい

2. なぜTest. SSFを作ったか



1. Test. SSFとは何か

- ソフトウェアテストに関わる技術者が、現場でやっていることをテストのスキルとして、定義したもの。



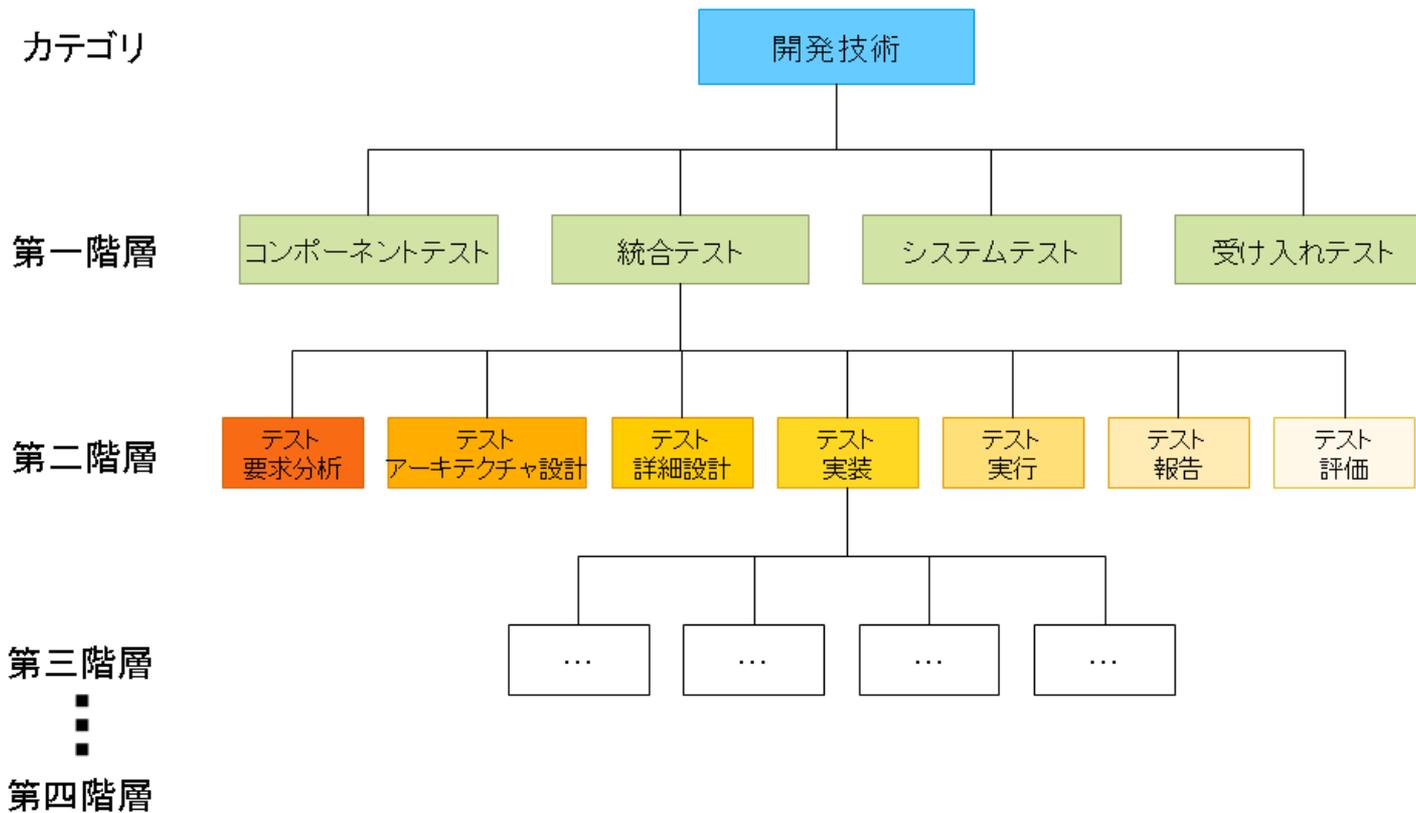
現場でやっていること =(イコール)
「普段やっていること」という意味では
ありません。

ソフトウェアテスト技術の進化を促すため
に、
先進的な現場で実践されている内容を、
取り込んでいます。

2. なぜTest. SSFを作ったか



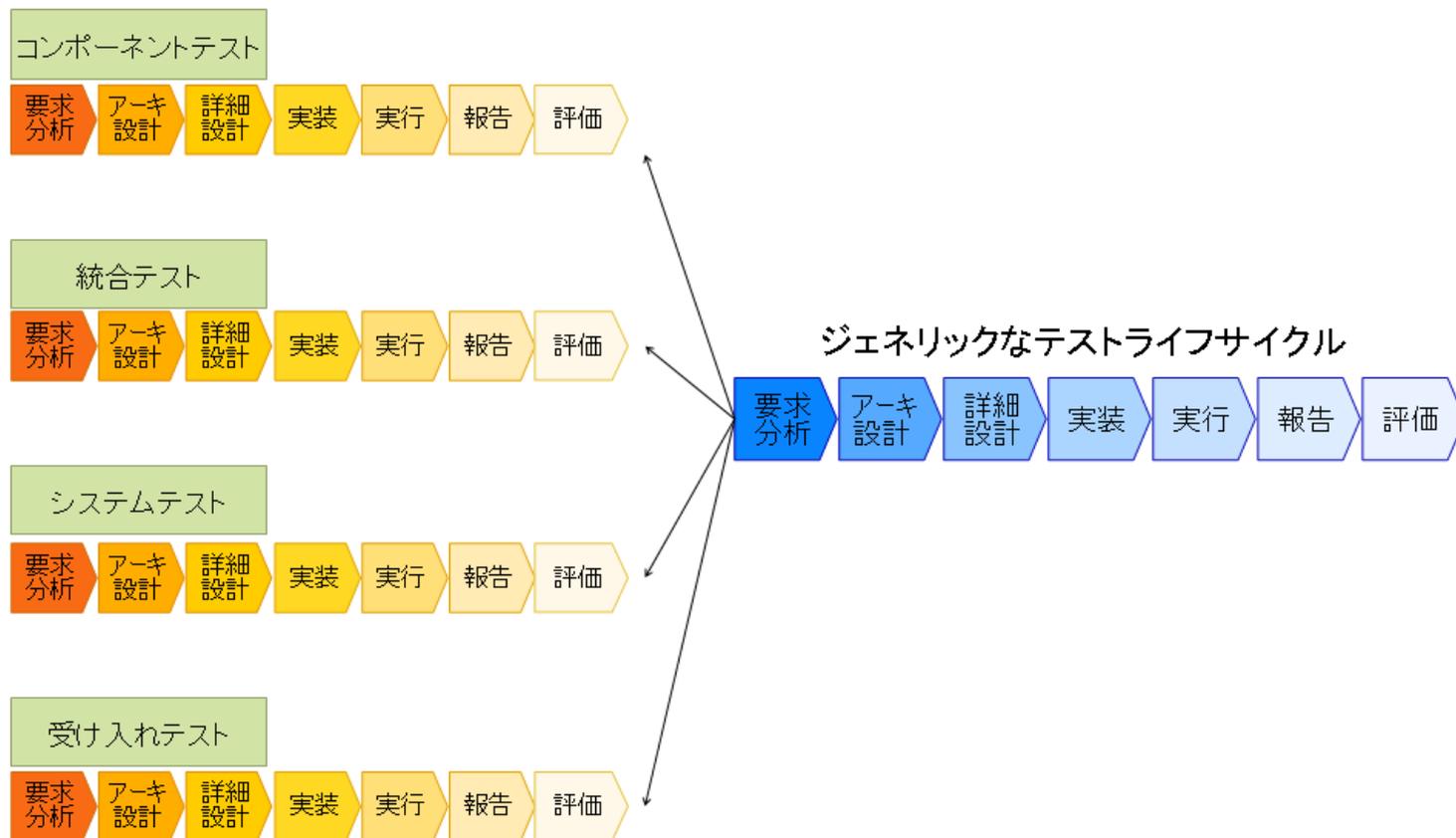
3. Test. SSFの全体構造



3. Test. SSFの全体構造



3. Test. SSFの全体構造



4. Test. SSFの全体構造

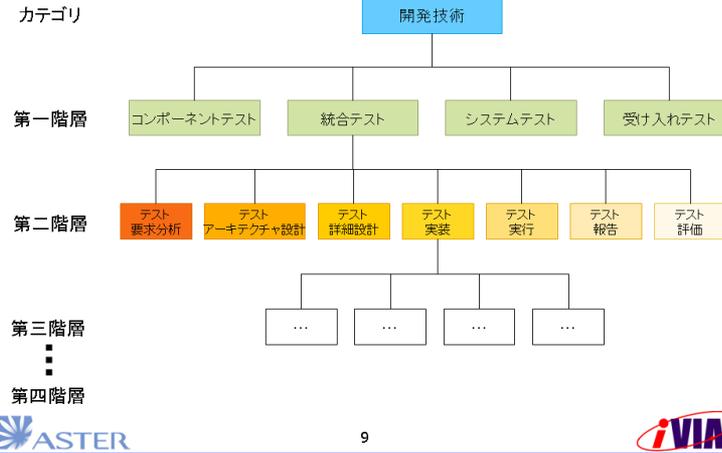


JaSST' 11東京の振り返り

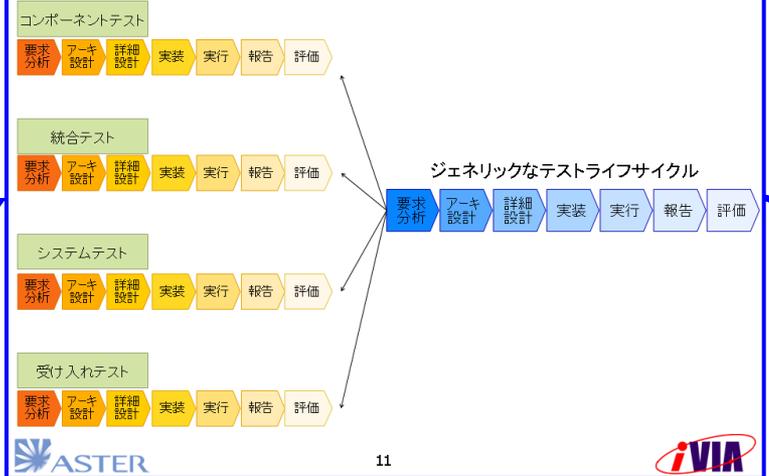
JaSST' 11東京の発表資料より(抜粋)

<http://www.jasst.jp/archives/jasst11e.html#project1>

3. Test. SSFの全体構造



3. Test. SSFの全体構造



3. Test. SSFの全体構造



4. Test. SSFの全体構造



Test. SSFの全体構造から

JaSST' 10東京の発表資料より(抜粋)
<http://www.jasst.jp/archives/jasst10e.html#project1>



3. Test. SSFの全体構造

Test.ssf

スキル基準

テスト技術に関するスキルを体系的に整理

2011年は、ここまで!?

開発技術

管理技術

技術要素

キャリア基準

テスト技術に関する職種を整理

育成ガイド

テスト技術に関する人材育成を支援するためのガイド
 ⇒ キャリアパス、育成プロセス例など

あれから2年、どんな進化を果たしたか

Test.SSFの開発履歴(2013年1月現在)



2008年3月

テストスキル標準のコミュニティのキックオフ開催

2010年1月21日

テストスキル標準がTest.SSFと命名される

2010年1月28日

JaSST '10 Tokyo テストスキル標準の紹介
(<http://www.jasst.jp/archives/jasst10e.html#project1>)

・テストスキル標準

■テストのスキル標準

佐々木 方規 (VIA)
西 康晴 (ASTER)
鈴木 三紀夫 (ASTER)
渡辺 登 (IPA/SEO)

JaSST'10 Tokyo



・テストスキル標準

■テストスキル標準(Test.SSF)の紹介と活用事例

鈴木 三紀夫 (ASTER)
佐々木 方規 (VIA)
石川 俊一 (VIA)
辰巳 敬三 (ASTER)

JaSST'11 Tokyo



2011年1月25日

JaSST '11 Tokyo 策定状況、活用事例の紹介
(<http://www.jasst.jp/archives/jasst11e.html#project1>)

2011年8月30日

← スキル基準(開発基準 β 版)公開

スキル基準【Ver1.0】、キャリア基準β 版公開
Test.SSFのロゴができました

2012年12月14日

スキル基準			キャリア基準	教育ガイド
開発技術	管理技術	技術要素		
Ver1.0	Ver1.0	定義しない注1	ベータ版	—

注1) 必要に応じて共通キャリア・スキルフレームワーク(Common Career Skill Framework、以下CCSF)の知識体系やETSSのスキル基準の技術要素を参考に利用者が作成する。

3. Test. SSFの全体構造

Test.ssf

Logoができました。

- ・スキル基準[Ver1.0]
- ・開発技術スキルカテゴリ
- ・管理技術スキルカテゴリ

スキル基準

テスト技術に関するスキルを体系的に整理

開発技術

管理技術

技術要素

・キャリア基準[β版]

キャリア基準

テスト技術に関する職種を整理

育成ガイド

テスト技術に関する人材育成を支援するためのガイド
⇒ キャリアパス、育成プロセス例など

スキル基準(概要) - 説明は、本セッション内で

概要

Test.SSFの**スキル基準**は、ソフトウェアテストに必要なスキルを明確化・体系化したものです。ソフトウェアテスト技術者の人材育成や人材活用に有用な指標(共通基準)の提供を目的としています。

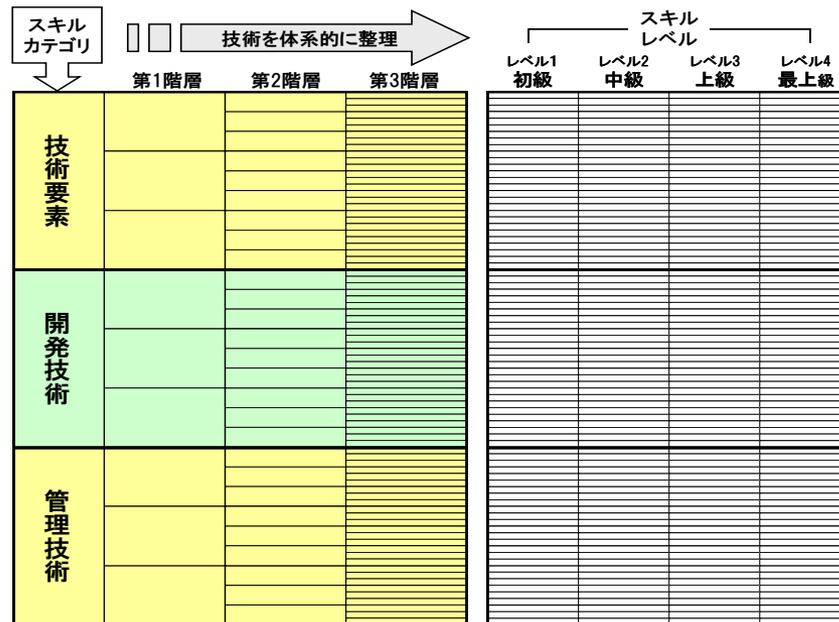
ソフトウェアテストに必要なスキルは多岐にわたりますが、スキル基準では”技術”のみを取りあげ、ビジネスやパーソナルなどのスキルは取りあげていません。

3つのスキルカテゴリ、

- ・開発技術
- ・管理技術
- ・技術要素

に区分され、各々が階層的に整理されています。

スキルレベルは、作業遂行能力の期待値を4段階で表現します。(レベル1~レベル4)



キャリア基準(概要) - 説明は、本セッション内で

概要

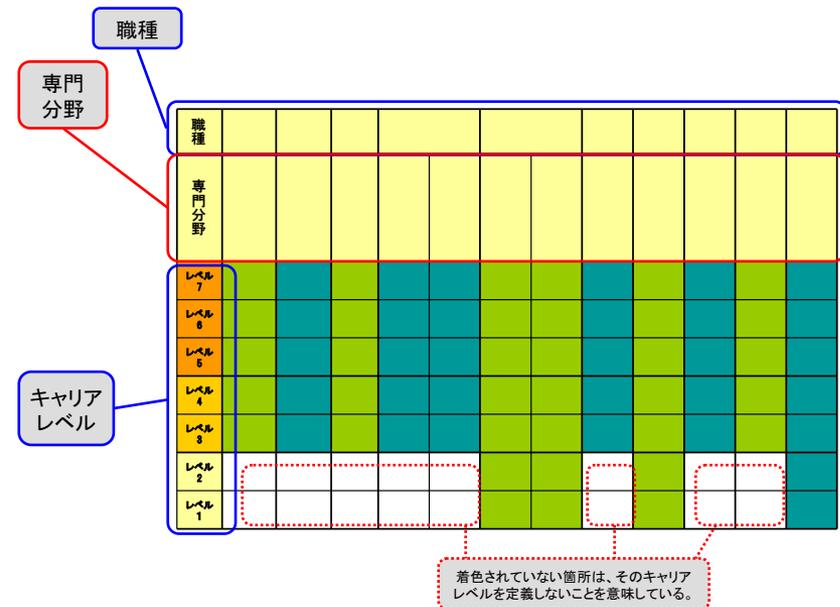
Test.SSFの**キャリア基準**は、ソフトウェアテストに関する主な職種／専門分野と、その各々に求められるスキルを明示したものです。職種／専門分野の名称が業界横断的に共通に使われることも意図しています。

キャリア基準では、共通の枠組み(キャリア・フレームワーク)をもちいて各職種／専門分野を表現しました。ソフトウェアテスト分野における人材育成や人材活用を実現するための“ものさし”として有効な指標となり、幅広く利用されることを目的にしています。

キャリア基準は、

- ・職種／専門分野
- ・キャリアレベル で構成され

職種／専門分野毎およびキャリアレベル毎に、必要なスキルおよびスキルレベルを提示しています。



今回の発表にあたり(最新の公開情報)

Test.SSFの最新公開情報と関連情報

Test.SSFの最新版は、2012/12/14に下記に公開されました。

特定非営利活動法人 ソフトウェアテスト技術振興協会
<http://aster.or.jp/business/testssf.html>

IT検証産業協会
<http://www.ivia.or.jp/item/35/>

Test.SSFの関連記事が、2012/12/14に下記に公開されました。
SEC journal 第31号 (2012年12月14日発行)
<http://sec.ipa.go.jp/secjournal/index.html>

《トピックス》テストの技術力強化に向けたテスト技術のスキル標準
http://sec.ipa.go.jp/users/secjournal/SEC_journal_No31web.pdf



Test.SSFのこれから

スキル基準

Ver1.0 → Ver1.x, . . . , Ver2.x

開発技術

管理技術

技術要素

ブラッシュアップ

必要に応じて適宜情報公開

キャリア基準

β版 → Ver1.0 → Ver1.x, . . . , Ver2.x

Ver1.0

キャリアの定義、スキルマップなど、Ver1.0の公開

実証・応用

- ・事例の公開
IVIAのシラバス適用など
- ・適用の支援
- ・思いついたこと(?)
- ・
- ・

育成ガイド

まずは検討 → β版

β版(?)

育成ガイドの作成の検討を開始